婦人新報

十月號

第二百十九號

婦人新報第二百十九號目次

各大臣訪問記　矢島楫子
與謝野晶子女史に對ふ　久布白落實子
不眞面目なる批評　福島春浦
眞潔の德　山室軍平
今夏丹後に於ける矢島女史の活動　井伊松藏
關西應援の旅　守屋東子
潮路　梅田きよ子
新潟の青年部優勝旗　杉本部長
各地通信
本部、芝、赤坂、筑前若松、長崎、札幌、麴町
編輯室より　ケー、エム

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科
鷲山改め
女醫 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價(郵税共)
一部(前金) 金六錢
六部(前金) 金三十五錢
十二部(前金) 金七十錢
(郵券代用一割増)
◎廣告料
一行(五號活字) 金十錢
編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年九月廿六日印刷
大正四年九月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島 [illegible]
編輯人 高原 [illegible]
發行所 婦人新報社 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所
印刷所 丸利印刷所 東京神田鎌倉河岸

No. 219. OCTOBER, 1915.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

In'ervievs with Mii.i-ters of Sta'e ......Madam Yajima.
Reply to M-s. Aki Yo-hano.......Mrs. Ochimi Kubu-hiro.
Carel ss Criticism ....Mr. S. Fukoshima.
C astity.......................................Colonel Yamamuro.
Madam Yajima's Summer in Tango Province...Mr. M. I.
A Trip to the West...............................Miss Moriya.
A Voyage.......................................Miss Kiyo Um da.
The New Y. Banner.......................Mrs. Etsu Sugimoto.
Rep rt;
Hea'quarters. Shiba. Akasaka. Wakamatsu.
Nagasaki. Sapporo. Kojimachi.
A Message from the Elitorial R om...................K. F.
English Department;— Mrs. Etsu Sugimoto.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御大典記念運動につき
各大臣の意見を問ふ

矢島楫子

△御大典の期近づく

御大典の期も近づきました。我が矯風會に於ては、この千載一遇の大禮を、嚴粛に奉祝し奉り度いとの希望から、今春京都に於ける大會に決議して「御大典奉祝の爲め催さるゝ公開の席上に醜業婦を侍せしめざるは勿論、其他凡て風俗を紊亂する行動は嚴重に之を取締られんことを其筋に請願する事、及び精神的記念運動として、今後六年間に公娼全廢を期する事」とし、爾後之れが輿論を喚起するに務めましたが、愈ゝ京都大阪を中心として、演説會を催し、運動酣なるに及んで、私に是非應援に參るやうにとの懇請がありました。就ては帝都の首脳者たる各大臣の意見を叩き、確たる方針を問ひ、これを一つの土産として關西に赴くことが必要と存じました。そこで十一日の午前十時半から、午後にかけて、二人の若き方々を伴つて、自働車を驅り首相官邸、宮内省、内務省、文部省、警視廳を歴訪しました。首相は來賓ありて、警視總監は外出中とて、來意を告げたるのみで辭し去りましたが、其の他の大臣には面謁の光榮を得て、數刻に亙つて懇談を許されました事は、深く感謝する所であります。

△内務大臣の意見

先づ内務省に參りました。先客ありて秘書官室に控

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゆること殆ど一時間、やがて大臣室に通されました。報徳主義を實行せらるゝと聞いた一木内相は、室内も極めて質素で、大きなテーブルを前に嚴格の中に慇懃な態度を以て、私共を迎へられました。差出したる決議文を披いて一讀され、「かやうな事は規則として實行を強ふるのは困難な事であるが、趣旨は極めて結構であるから、どうか貫徹するやうにして頂き度い」とて緊張したお顔に、時々打ち解けた笑を浮かべて「私の經驗をお話すると、嘗て地方を巡回した時、藝者の出る會には一切出席しないと云ふ事にして、其の主義で押し通して行くと、中にはそれを喜ばぬ人もあつて大分物議を醸しました。決議の第二項の、今後六年間に公娼廢止を期する事といふは大問題で、一朝一夕に論ずることは出來ないとしても、第一の公開の席上に醜業婦を侍せしめざる事は、私共はもとよりさうありたいと思ふが、然し實行には困難でありませう。折角お働らきを願う」と述べられました。私は「此の頃地方を巡つて見ましたが、日本國民は實に柔順で、お上の一聲はどれ程力あるか解りません」と申すと、大臣は「昔水野越前守が矯風を上から強ひて、却つて失敗した例もありますから、やはり矯風會のやうな團體が漸を追うて働かれるやう希望します」とて、私共の奮起を促されました。

△文部大臣の意見

次に文部省を訪ひました。嘗て文展で見覺えのある屛風や彫刻や繪畫の所謂文部省お買ひ上げになつた美術品で、廣やかな部屋は處狹きまで飾られ、何となく親しみのある氣分の漂ふ中に、兼ねて相識の間柄なる高田文相は、極めて心易い態度で迎へて下さいました新任の御祝儀を申上げると、先方は老年の私を慰勞つて下さり、例の決議文を見て「至極結構な事、今日のやうに表面に醜業婦が跋扈するやうになるのは、婦人等が引込み過ぎて居るからで、どうか今回の如き御大典を機として、善良な風を立てたいものであります」と言葉も丁寧に語られます。私は京都に於ては既に奉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝の宴會を開く場合に、知事夫人初め、高官の婦人等が斡旋の勞を取るやうにきまつた由を告げましたので文相は「本願寺ど祇園で持て丶居る京都市で、さやうな斷行が出來たといふのは、京都市民の進歩であり、一方矯風會の働らきの疎かならぬを示すものである」と喜ばれました。尙ほ御大典に際し新橋、柳橋等の藝妓數百名が盛裝して、市中をねり歩き、二重橋外で萬歳を稱ふる企て等がある由を申すと「これ等は國民の道義的制裁が強くなつて、自然に遠慮せしめたいものである」と語られました。

△宮內大臣の意見

此處を辭して宮城內宮內省に波多野宮相を訪づれました。德富猪一郎氏の紹介狀に、城門を嚴しく固めた守衛の人々も、難なく通過させる筈でしたが、その紹介狀の中に宮相に「拜謁の榮を賜り度く」といふ言葉があつた爲め、守衛は不思議さうに幾度か讀み返へしては居る間に、皇太子殿下、皇子殿下の御入來とあつて、自動車より降りて恭しくお迎へ申しました。この間凡そ三四十分を過ぎて居りますが、守衛は尙ほ不審さうに眉をひそめて居ります。それで何故と尋ねて見ますと、拜謁とあつたので、畏くも陛下に拜謁いたす事かと思ひ誤つて、こは容易ならぬ事と思つたのださうです。場所柄さもあるべき事、宮相に御面謁を願ひ度いとの事が解つて、早速この御門の通過を許されました。やがて奥深き宮內大臣の應接間に通されました。雅びやかな木立の茂みを越しての奥には我が陛下には今や御愛子の君方を召して、御親子の御睦みに大政を見まつる御勞れをも忘れさせ給ふであらうなどと、畏こき想像を走らする間に、扉を排して波多野宮相は寛容な態度して入り來られ、名乘りも待たず「先年法相をして居る時、あなたに一度お目に掛りました」と申されます。想起すれば先年一夫一婦の請願で、當時の法相の御厄介になつた事がありましたが、此處に圖らずも亦御多忙の御身を煩はす事となつたのでした。同く決議文を差出しますと、これを一讀され「元

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

來朝廷の御儀式には、昔は一般の市民は火を燃くことも許されなかつたもので、これは誤つて火事でも起してはならぬと云ふ處から、それ程に謹んだものであります。今日御大典奉祝に何やらお祭騷ぎをしなければ物足りない樣に思つて居るのは、心得違ひで、どこ迄も嚴粛に奉祝の誠意を致すべきである」とて、更らに藝妓の行列の擧を聞かれて「二重橋前には第一行列する場所さへありません」とて呵々大笑されました。

△大隈首相同令夫人を訪ふ

その翌日私共は更らに早稲田の私邸に大隈首相同夫人をお尋ねして、今回の御大典記念運動を營むに當り、過る大會の節首相より送られたる祝辭の甚だ有力なりしを謝し、なほ陰に陽に本會の主義に賛助を與へ給ふ好意を謝しました。數十名の來客ありし中を殊に夫人は佐賀の郷里より珍客ありし折にも拘らず、快く數十分に亙りて會談され、相變らず元氣旺盛の伯に勵まされ、茶菓の饗應を受けて歸りました。私共はこれ等國家の中樞を握れる方々の深厚なる同情を戴いて居るので、私共の主義の實行を見るのも遠からぬ事と、希望に輝く前途を神に感謝して、更らに努力致したいものであります。

――會告――

「矯風日曜」（テンプレンス、サンデー）

來る十月廿四日の日曜日を期し、全國各教會に於て、御大典記念事業として我が會が決議せる事項につき、特に祈禱を捧げられんことを。併せて講壇より矯風或は廓清につきて説教されんことをお願ひ致します。

支部各員は其の地方の牧師に御願ひし、矯風日曜或は廓清日曜として此の日を守らるゝやう御勸誘下さいまし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矯風漫錄

（與謝野晶子女史に對ふ）

久布白落實子

七月號の太陽の婦人界評論に與謝野晶子女史の時事問題に關する意見を伺つて御尤もと同感を表する點も多く御座いますが、終りの一項御大典に藝妓を公會の席上に侍せしめざる事についての御意見丈けは、少し其意を得ぬやうに思ひました。女史は目下婦人界の大立物として、其感化の及ぶ處も多く、且つ又女史と同意見を有せらるゝ向きも少からぬやうに思ひます。よつて淺學をも省みず、この重大なる一問題に就て、敢へて尊顏を犯して、女史の御意見に對へて見度いと思ひます。

△問題の中心點

抑もこの問題の中心點は、來らんとする今上天皇陛下御卽位式を最も盛大に、且つ純潔に奉祝し度いと云ふ一事です。これを爲すために道德上如何はしき業務に從事する人々を正面に出して、事を斡旋さするのを謹みたいと云ふのです。如何にせば千歲一遇のこの盛典を時勢に適せる方法を以て祝すことが出來るか。世界萬國環視の中に立つて、東洋の雄邦として威嚴あり熱情ある祝意を表示することが出來るかと云ふ事は國家の一員として誰しもこの際愼重に考ふ可き問題であると思ひます。

△この決議は無慈悲か

賣淫と云ふことは一先づ讓つて、單に藝妓として彼等をこの度の大典祝賀の節、公々然と正面に出づることを免したら如何でせう。唯さへ虛榮にあこがれ、道德觀念の薄弱否な、寧ろ皆無と云つてよい下層社會の

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦女、田舍の娘等はこれ程の出世はないと云ふ氣にならぬでせうか。如何に立派に着飾つて居ても、あゝ云ふ職業をする人は賤しい者だ、つまらぬものだと云ふ事をしつかりと婦女子の心の底に打ち込むことは、堅實なる家庭を造り、國家の基礎を据うる上に於ての最も大切なる事柄です。この觀念を養ひ立つる事は容易な事ではありません。あらゆる機會、あらゆる方法を利用して、堅實なる婦人の價値と云ふことを知らしめねばなりません。この度の如き機會は實に千載一遇ですかゝる機會を僅か少數の藝妓を憐む心から、女史の言を假りて申せば、平生肩身のせまい彼等を慰むる爲めに、最大多數の婦女子の教育機會を失する事は決して策の得たるものと云ふことは出來ません。かゝる時に從來の如く賤業者輩をチヤホヤすることは、徒らに彼等の自負心を募らすのみで、決して彼等を憐み助くる所以ではないと思ひます。似て非なる慈悲は、此際大に考ふ可きことゝ思ひます。

△驚く可き道德觀念の低さ

眞面目に今日の社會を視ますれば、國民の大多數は實に驚く可き低き觀念を以て日常生活を律して居ます。一町內で軒を並べて半年の內に嫁を二度とり、婿を二度取つて、其都度目出度いと云つて近處に餅を配つて平氣で居る社會です。妾位のことはお茶の子でもありません。藝妓酌婦を賤業と心得て居るものは田舍などには一寸見當りません。こんな低い道德觀念が未だ國民の多數を支配してゐることを目の當り見て、どうして安閑として居られませう。憐む前に知らしめなければなりません。手鍋さげても一家の主婦は貴いもの、錦着てもかゝる業務は賤しいのだと云ふことを目に指さし込むやうに知らしめることは大切な事であると思ひます。

△一夫一婦は閑問題か

女史は矯風會が、禁酒、廢娼、有婦男子の姦通制裁と云ふ樣な遠大な問題にのみ氣を取られて居るのは遺憾であると仰せられますが、禁酒と云ひ廢娼と云ひ有婦姦通罪制裁と云ひ、一言にして盡くせば「我が家を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

守る」と云ふ一事です。決して遠いことでも、大きいことでもありません。各自が我が家を守らないでどうしませう。唯其守り方がハキ掃除や、飯焚許りでなく良人や息子の道樂や、不品行や、不爲體をも豫防し、根治しやうと云ふのです、家の內に一人の不良少年が出來たらば、其家の苦しみは如何でせう。主人が外妾を置いたり、祕し子を造つたりすることの子供の上に及ぼす影響は如何でせう。中々學校で埃を吸ふ處ではありません（學童の掃除問題は都鄙事情を異にす。常識に訴へて取捨すべき事と思ふ）之れを直接間接な力を盡して防ぐとは、當然のことと申さねばなりませぬ。

△積極に救濟の方法を講ぜよ

藝娼妓と云ふ階級を造つて、國民の獸慾の犧牲、歡樂の奴隸と爲すことは、永續すべき性質のものではないと思ひます。米國が國家の安危を賭してまでも、黑奴を解放した如く、我國民も早晚覺醒してこの階級を解放せねばなりませぬ。天理に反して盛なる民族は有りませぬ。六箇年を期して全國廢娼と云ふ事は、今日我國の志士仁人たらざるも苟も眞面目に民族の將來を思ふ人々は雙手を擧げて贊成すべきことではありますまいか。唯彼等も人なり、人の子なり、殺す可らず、解放すべし。解放して救濟すべしです。救濟の方法は數多ありませう。彼等の職業を、賤業、卽ち賣春を離れて、藝を以て立ち得るやう其境遇を助くるも一方法でせう。其人品を高め、彼等も尙ほ神の子たりとの、高貴なる自覺を與へて、正業に立ち返らしむるも一方法でせう。彼等を憐む心ある仁人が、一つの團體を造つて、女優養成の如き會を設けて、彼等の職の改善を計るも一方法でせう。兎に角彼等をして積極的に腐敗分子を退けて、其職に尊敬を持ち得るまでに助くるは彼等を救濟する大方針であると思ひます。

△結　局

御大典は淸く祝したい。賤業者は康らかに助たい。これが矯風會の大趣意のある處であることを一言して女史の批評に對へ、併て江湖の人士の御一考を煩はしたいので御座います。（九月六日、高松市私宅にて稿す）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不眞面目なる批評

福島春浦

○眞面目な考を以て熱心に事を計畫して居る人があるならば、よしやそれが不成功に終る事の明瞭である場合にも、必ず相當の敬意を以て之に對せねばならぬ。之を冷笑したり、之に不眞面目な批評を加ふる如きは斷じて紳士淑女の禮でない。況んや、社會の爲めに惡風を矯正せんとする事業の如き、その運動それ自身が無形の裡に社會の向上に貢献して居るのであるから、事の成功と不成功とは、此場合大なる問題ではない。吉田松陰は其の目的を達せずして死んだ故に、彼の運動は無效であつたといひ得られようか。個人に於ても社會國家に於ても、失敗が却つて他日の大成功を持ち來すことがある。形に負けて事實に勝利を得ることもある。

○婦人矯風會が、御大典奉祝の席に、事實醜業婦たる藝妓を列席せしめないやうとの運動に對して、不眞面目なる批評を加へ、冷笑的態度を以て之を待つものが間々あるのを見て、予は彼等が、あまりに禮義を解せず、あまりに社會に對して誠意のないのを慨せざるを得ぬ。況んやその不眞面目なる批評家が、婦人であり或は婦人に同情を持つべき婦人雜誌の記者たるに於て一層殘念に思ふのである。

○今更、矯風會の決議の趣旨を辯明する必要もあるまいと思ふが、本誌記者の方の依頼もあり、又矯風會の門外漢たる予の説明は、却つて公平に聽かれる事もあらうと思ふから、簡單に、彼等不眞面目なる批評家の惑ひを説かう。

○彼等批評家の一致していふ處は、藝妓も國民ではないか。既に國民たる以上は、我々と共に御大典を奉祝するに何差支があらう。矯風會の決議は、憲法に與へてある人權を蹂躪するものであるなど〻、さも眞面目らしく不眞面目なる理窟を揑ねるのである。此の論法からいへば、奉祝會の席上、或は時勢を誹毀するや

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うな演説をしても、酔眼朦朧痴態醜状を演じても、それが法律に觸れない以上は咎めることも出來ないわけである。矯風會の諸氏いかに無智なりとも、藝妓の人權を無視するやうな擧を敢てせらるゝ筈はない。諸氏の運動は社會的である、趣旨は道德的である。道德的に、社會的に、男子に對しては忠告し、藝妓に對しては自己の良心より遠慮せしめようとするのである。忠告で效果がないと見れば、指導の地位にある人、若くは監督の局に當つて居る人をして、説諭せしめやうとするのである。忠告や説諭が、憲法上の人權を蹂躪するものだといひ得られやうか。

○

甚だ恐れ多い事であるが、今上陛下は、東宮御在世の御時より固く一夫一婦の倫道をお守りになり、二千五百年來の我が皇室の歴史に一大新例をお開きになつて居ると漏れ承つて居る。この　陛下の御即位の大禮を奉祝するに、醜業婦を侍せしめないやうにとの忠告が、果して間違つた非常識であらうか。それも、多年の習慣如何とも仕方がないとして、默過するのならばまだ可いが、そんな忠告は間違つて居る、憲法に抵觸するなど〻、正面から大膽に反對論を唱へ、又は公然冷笑するに至つては、これ實に風紀紊亂の奬勵である。醜業公許の謳歌である。社會を毒すること恐るべきものがあらう。

○

論者は又、矯風會の諸氏が、藝妓に對して同情を持たぬことを誹つて居るが、諸氏は、決して藝妓その人を憎むものではない、その醜業を憎むのである。故に彼等に對しては、その業の卑しむべく且罪深きことを説き、他の眞面目なる正業に就せやうと努めて居る。醜業を恥ぢよ、正業に就けよと叫んで居る矯風會の諸氏が、果して藝妓に對して同情がないか。はた彼等の肉體と良心とを金で買ひ占め、之を自己の娛樂の爲めに玩具扱ひにする男子が、同情あるものと言ひ得られやうか。

○

不眞面目なる批評に對して眞面目に辯解するのは、惡戲者に對して本氣に相手になる感がないでもないが思想の幼稚な人の爲めには多少の參考にもならうかと思つて斯くは。

貞潔の徳

山室軍平

△救世軍の大典記念事業

私は大阪婦人矯風會の方々及び老體を厭はず遙に御來阪になつた矢島會頭、又多忙なる時間を割いて御出席になつた益富君の勞を感謝するものである。此度は殊に未曾有の御大典を祝賀する準備として此會を催されたわけであれば、矯風會の二つの決議の趣意に就て考へ、お互如何にもしてその決議の實行を見ん爲に力を盡したいものと考へる。

唯私としては此好機會を以て一言救世軍の者の此御大典を祝ふ爲に記念事業として計畫して居る所に就て一言することを許して戴きたいと思ふ。而して其の一つは英語でスラム、ポストといふ卽ち貧民窟屯所の事業にて、此れは昨年末皇室より御下賜に相成りたる御内帑金參千圓を基本とし其の利子に他の金を加へ、それを以て經營する筈である。これは貧民の眞中に然るべき人物が住み込み、年中朝から晩迄貧民窟を一軒一軒訪問し、其の相談相手となつて之を助くる働きである。病人があれば之を介抱し、失業者の爲には仕事を周旋し、飢たる者には食はせ、凍えたる者には着せ而して之に基督による救を與へやうといふのである。差當り東京の本所長岡町と下谷萬年町と二ヶ所に之を設くることゝなつた。

△免囚保護事業

別に大阪に同じく記念事業として一箇の免囚保護事業を始めたいと思ひ、二三日前から當地に參つて奔走中である。大阪の監獄は六萬坪もある大きなものだが

一見した處至つて舊式のもの丶樣である。大阪監獄に既決囚二千四百人、お隣りの堀川分監に女囚と未決囚とにて八百人、合計三千二百人が同じ場所に閉ぢ込められて居る。三千二百人が一つ處に居るなどいふは日本に一つしかない例であるが、典獄の話によれば蓋し世界に一つであらうといふことである。而して舊式な荒格子の監房内の、六疊の間に八人十人づゝ居るのである。法律を犯して犯罪でもする樣な人を、六疊の間に九人十人同居させ、此暑い時候に膚と膚とふれ、足と足と重なるやうなことを許して置て、彼等の風儀の好くなること、又は精神の入れかはることを求めた處で、それは無理な話である。どんな人間でも、あゝして三ケ月か五ケ月か居つたら、屹度あらゆる良くない習慣を得て出てくるのが當り前である。さうなるのが不思議ではないかとさへ考へられる。それで置て彼等が外へ出て後之を保護すべき免囚保護の設備が殆んど此大阪の大な都會になきにひとしき有樣であるといふのは、どういふ大なる缺陷であるか。又區裁判所に行つて見ると、今年の正月から六月迄上半年に、微罪不起訴になつた者が大阪だけで實に四千人、一年には八千人になるであらうといふことである。彼等の中大阪に親類か知人でもあるものは、呼び出して引渡されもしやうが、そんなものがないのは、唯嚴重に戒めて放免するだけである。此等の中或者を引取りて暫くでも世話をなし、國元に返すなり、又は堅氣な仕事に就かしむるなり、其の面倒を見てやるものがあつたら、どんなに仕合なことであらうか。此ういふわけであるから、私共は今一つには免囚を引取る爲、又一つには微罪不起訴の人を收容して保護する爲、以上二つの目的を以て一つの事業を起したいと思ふのである。幸に當地官民有志の厚い同情があり、現に今朝も當市の或る事業家から其の爲金一千圓の寄附を申込まれた樣な次第である。眞に感謝に堪ざる所である。

△宴會の改良

扨本題「貞潔の德」に就て考へたいのであるが、此れは矯風會の二大決議の根本思想であつて、これさへ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諒解せられるならば、其の他の事は自らに解決せられる筈と思ふ故、此様な題目を擇んだわけである。

序でだから申添へるのであるが、藝妓を公けの席に侍せしめることは、御大典の當時に限らず、いつでも餘り感心出來ぬことである。これに就て當地の或る事業家の話に藝妓を聘して營んだ宴會は不規律で、長びいて、だらしがなくて、淫猥の空氣に滿ちて、いやなものである。之を救ふ法は差當り、もつと西洋料理を利用したら可いと思ふ。西洋料理なら時間も正しく守れ、風儀も正しくて、忙がしい事業家の會合には、あつらへ向きである。唯大阪での悪い風は東京あたりから高名な方でも來られ、西洋料理にて之を歡迎するといふ様な場合に、肝心な來賓を別室に祭り込み、唯兼兼懇意な七八人、十人の人々だけで其の周圍を取巻き他の人々は空しく別室に待せて置く。斯くて愈ゝ西洋料理となると、今度は席が定つて居るから、又來賓の傍によりつくことが出來ない。其の爲め西洋料理は馬鹿々々しいものだといふ感想を與へて居る場合が少なくない。宜しく主賓をして一般來會者の中に斡旋せしめ、一同も懇親を重ねしめるが可い。それさへ出來れば大阪あたりでは、大概の會合は皆西洋料理にすることも決して難くないものであるとのことであつた。十分考へて置くべきことゝ思ふのである。

△一夫一婦の倫常

貞潔の問題に就ては敢て我が田に水を引くのではないが、世の人が大概皆男女の間に正しい考へを持ち得ない時、天子は十二の妃、諸侯には八人のおもいもの大夫は五人、侍は二人の妾をかゝへるのが常だなどゝ此間迄も思ふて居つた世の中に、今から千九百年も前正面から一夫一婦の倫常を說き示された基督は、眞に人類の大恩人、世界の救主と崇めらるべき御方であると思ふ。

人類の始めはアダムとエバとの二人からであるといふが、それがどうであるにもせよ、いつの時代にも男女の數は不思議に同じ位である。殊に年頃の男女の數は略ゝ相ひとしい。此度の様な大戰爭があつて男子が

多く討死をすれば、其の後には屹度不思議に多くの男の兒が生れて間もなく大概其の數を補ふといふのが、今日迄の事實である。神は一人の男子と一人の婦人との連れ添ふことを天則と定め、斯くは男女の數を略ゞ同じ位に產れさせ給ふものに相違ない。人情の上から言ふても眞正なる夫婦の情愛は唯一夫一婦の間に於てのみ之を見出さるべきものである。家庭の基は一夫一婦にある。近頃不良少年などいふものが多く出る。其の原因は多々あるなれ共、其の最も大なる一つの原因は家庭の良くないことである。殊に夫婦の倫常の正しからざる爲めであるといふことが出來る。學者の說によれば、一度男子に見えた婦人は其の男子の血を受けて居るから、後に他の男子と結婚して子を產んでも、其の子は純粹に後の男子の子とは言へない。前の男子の血をも混じて居るといふことである。どの道から考へても、私共は一夫一婦の倫常を、飽く迄主張せねばならぬ。

△トルストイの醜業婦觀

然るに今日の日本には公娼がある。藝妓、酌婦などいふ私娼がある。內緣の夫婦と名けて野合が公けに行はれ、離婚と、私生兒との多いことは世界第一と稱へられて居る。而して紳士と稱へらるゝ人々は妾宅の一つもなくては恥辱のやうに思ふて居るものも少なくない世の中である。どういふ不眞面目千萬のことであるか。

なぜ日本に醜業婦が跋扈するかといふには、色々の複雜なる理由もあることなれど、其の最大の理由は男子が之を要求するからであると言ふことが出來る。トルストイが或時居酒屋の店先に居る一婦人に其職業を問ふと笑ふて答へない。居酒屋の亭主が横から口を出して「此女は醜業婦ですよ」と、さげすむ如く言ふとトルストイは「併し此ういふ醜業婦が存在するのは、輕薄なる男子が之を要求するからである。其の責は殊に男子に於て重い」といふのを聞て、數人の青白い顏した婦人がそこらの窓から首を出してトルストイを見た。大方絕て久しく然ふいふ同情ある言葉を耳にしな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かつた故、なつかしさの餘り斯したものと思はれる。丁度其の如く日本に多く良らぬ業を營む婦人があるのは、其の大部分の責が男子にある。

△清福の家庭の土臺

然らば輕薄なる男子は何故さういふ不品行をするかといふに「泥棒にも三分の理あり」とやら彼等にも相當の口實があつて、或は風流なことだからとか、性慾を滿す爲だからとか、快樂の爲だとか、交際の爲だとか、世の成功者が皆なすることだからとか、色々の事をいふて居れど、つまり本統の理由は、彼等が其の肉慾に克ち得ぬ爲である、其の誘惑に打ちかつ力がない爲である。然らば如何にして、人は其の力強き性慾を抑制し、品性あり人格ある生活を營み得べきかといふに、それは第一に、自分は劣情の爲に其の身を穢さじと決心することである。「千金の子は盜賊に死せず」といふことがある。千金の身は肉慾の爲にそこなはるべきものでない。第二、又出來るだけ誘惑に遠かつたが宜しい。ミイラ取りがミイラになるやうな眞似をしてはならぬ。第三に大切なるは、我が本分を熱心に務め間斷なく勞働することである。閑なから惡いことをするのである。「小人閑居して不善をなす」とは其の事である。第四、又無邪氣なる娛樂をとり、殊に勇健なる運動をつとめ、夜になつたら疲れて前後も知らず眠り得るやうにするが可い。それでも足りないならば第五は基督を信仰し、其の御救によつて新しき心をもつた人間となるに限るのである。これは私共が自分にやつて見て、如何にも確實なることを保證し得る、倫理道德の力の出所である。第六には卑怯な眞似をせず、大膽に他人と同じ貞潔の德に導く爲に盡力し、第七、時機が來たならば、淸い家庭を作つて其の淸福を樂むが可い。ビスマークは英語に羨ましい語が二つあり、それはゼントルマン(紳士)とホーム(家庭)との二語であるといひ、救世軍の前大將は、英語に誇るべき語が三つありて、それはホーム(家庭)とマザア(母)と、ヘブン(天國)と、それ丈であると言はれた。淸福なる家庭に愈る樂しい處が他にあらうか。而して斯かる家庭は唯一夫一婦の貞潔の德を土臺としてのみ造り出さるべきものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今夏丹後に於ける
矢島女史の活動

宮津 井伊松 識

△去る六月峰山谷口夫人上京、事務所を訪問し、矢島女史に面會の際、今年は貴地に避暑して多少の御助けにもならばとの御話あり。歸來早〻小生に相談せられ、次で峰山婦人會、主となり御迎することゝなりたればとの御通知に由り、小生は七月二十三日午前九時舞鶴着の列車に數名の姉妹と共に女史を迎へ、同十時發の汽船にて宮津に着。中食後少憩先生一行は午後三時半の自働車にて峰山に向はれたり。

△同月二十五日午前中郡教育會の爲め數十名に講話せられたり。

△同月二十六日夜峰山より約一里の河邊村青年會の爲め講話せられ、四百名の集會あり。此は峰山小學校長中西氏の斡旋なり。

△同月二十九日午前十時より峰山町小學六年生以上、及び女學生の爲め講話せられ、二百名以上集れり。同夜は増長院(眞言宗)講話聽衆約百名なり。

△八月四日岩瀧より三谷民子姉參られ、御二人にて小學校に於ける婦人會に講話約百名來集。

△同月五日神戸教會米澤牧師と共に小生は峰山に參り女史と三名にて増長院にて話す豫定なる故、第一席小生第二席米澤氏第三席女史の順序なりしが、我等二人は別に矯風問題に觸るべしとの約はせざりしも、何しろ矯風會頭の矢島女史を前に控へての話故、共に矯風問題にて結論する次第となり、女史は之れを宜しとし

て只挨拶をせられしのみにて會を了せり。來聽約百二十名。

△同月六日竹野網野町に三人にて赴き、同午後三時より三人共一時間以上の話をなせり、聽衆の忍耐力は驚かれたものなり。

△同月七日女史一人にて網野町の隣村島津村に至り、午後婦人會に夜は同村機業家にして基督信徒なる足立米治兄宅にて家族及使用人約七十名に講話せらる。

△同月八日夜網野町機業家室野兄宅にて數名に向つて講話せらる。

△同月九日夜は網野滯在中、御宿せし森兄宅にて集會をなし、數十名來る。

△同月十日は再び峰山に歸られ、夜に入りて矯風會に入會を決心せし姉妹達の集會を開き、種々協議などありて最後に撮影し、就眠せられしは十二時も過る頃なりき。

峰山婦人會に於ける矢島女史

△同月十一日は早朝六時の自働車にて宮津に向はれ、小生は朝六時文珠にて女史を迎へ、天の橋立を漫歩し、相成山下の旅館に女史が休息せらるゝ間、二孫孃を伴ひ相成山上にて天橋を眺望、只遺憾なりしは女史の御伴せざりしことなれども、前夜の御疲勞と當夜の集會を思ひて無理にも御勸めせざりき。夜は宮津町役場の樓上にて集會し、男女打混じ約百名なりし。盆前切迫の爲め豫想以下なりし。

△十二日午後八時小生宅にて信徒丈の小集會に御話を乞ひたり。

△十五日まで宮津にて休息せられ十六日西舞鶴に向はれたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△同十六日午後二時公會堂にて集會、餘り準備行屆かざりしも町長木戸氏の盡力にて有力者男女打混じ百二三拾名の集會あり。聖公會の村田長老の紹介演說、第二席小生、第三席小生の講話にて六時解散せり。

△同十七日午後七時より同町聖公會講義所にて集會約百名の集會あり。小生は餘部町準備の都合もありて、此の會には加はらざりし。

△同十八日は餘部に向はれたり。此地は舞鶴軍港の所在地にして、御滯在中は副官田中中佐の官舍に宿せらるゝことゝなれり。當夜は壽座にて開會四百餘名の滿員、小生と村田長老女史の講話あり。

△同十九日午前中海軍病院參觀、午後七時より水交社にて將校及び同夫人約百名小生と女史の講話あり。

△二十日午後二時下士卒家族共勵會の職場に臨み、小生と女史約百名に話せり。同日午後八時新舞鶴町群鶴座にて開會、約三百名の集會あり。村田長老の紹介、女史講話の後に、小生は矯風會の決議文を朗讀せり。

△二十一日朝七時餘部町博愛病院前の同別莊にて、約三十名の兄弟姉妹と共に小生司會の下に約三十分の感謝會を開き、終つて撮影八時五十分の列車にて綾部に向はれたり。該地は波多野兄の經營せらるゝ郡是製絲會社の所在地にて　小生紹介同社參觀の序を以て、同地愛國婦人會の催しに係る集會に臨まるゝ筈なりし。

△同二十二日は彌兩丹を辭し、少時休息の爲め神戸に赴かれたり。斯の如く御滯在中、所謂南船北馬にて殆んど寧日なく、訪問の交換やら、揮毫集會やら、老體能く勝えられしものだと舌を卷かぬ人はなかりし。僅少の御來遊は多大の感化を殘せり。特に峰山に於ては每朝五時に櫻尾公園の早天の祈禱に數名の人々の加はりしは實に感謝の極であつた。

關西應援の旅

守屋東子

○會頭より一日先九月十三日午後七時の列車にて京都に向ふ。昨一昨と大臣歴訪につぎて起りし諸雜務に充分なる休息を得なかつた私は、一番後の車のいつも樂々とすいて居るのを思ひ出して、心得顏に乘車。顏なじみの列車ボーイに好き場所を與へられて先安心。動搖する車の響を守歌のやうにきいてねむり、醒めた時は東がすでに白んで居つた。久しぶりに琵琶湖の朝景色、叡山のほの〴〵と光をうけた姿ながめて氣持もすつきりとした。

京都についてからは直ちに堀内さんに行く、矢島先生の贈物の寫眞は堀内先生に總義齒をして頂いた御禮として、川崎まさ子姉が寫されたもの。不充分な入齒に苦しめられて思ふやうに演說もなし得ず、若しんでお出になつた時のお顏と二樣に寫したのを一緒に椽に入れたもの、いかにも矢島先生の贈物らしいものであつた。堀内夫人も非常によろこばれた。

車を同志社に飛ばして支部長富森姉とお打ち合せをなし、午後の聯合婦人祈禱會に出席、香山牧師が熱心に廓清事業について婦人の自覺を促がされしをきゝ感謝して歸る。

夜は青年會館に廓清會、青年會と聯合して婦人矯風會の御大典準備演說會を七時から開會、矢島會頭の代理にとて大臣訪問の顛末を中村氏の開會の辭につぎて述ぶ。益富氏及山室大佐の熱心なる演說ありて閉會。數十名の廓清入會者を得勝利の内に散會。

○十五日七時半頃會頭を乘せたる列車は京都驛をすぐると思ひつゝも遂に至らず、家に居りて手紙等を認む益富氏來訪、今夕食を大阪の公會堂裏小寶に於て饗應さるゝよしなれば其時刻迄に至るべきやうにとの言傳を殘して歸らる。

午後の汽車にて大阪に行き婦人ホームに入る、早や人々出拂はれしあととなるにより衣更めて公會堂裏小

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

賣に行く、道々白章の若き婦人等行きかふ人に今夜の廣告をくばり一人もおとすまじと働かるゝけなげさ。

小寶亭の夕餐は十一名、山室大佐は數日を費して新事業開始の爲に働かれつゝある結果を語らる。大佐の信仰は大阪人士を動かして望みの金子すでに半額まで與へられしとのこと。

矢島會頭は午前着阪早々林大阪支部長に同伴されて府廳に知事を、市廳に市長を、猶二大新聞としての大阪朝日及大阪毎日を訪ふて其社會部長に面談數刻。全く老軀をわすれ給ひしやうの御奔走、五時少し前に來會。高木貞衞氏の祈禱を以て樂しき夕餐をしたゝむ。

益富氏は此夜演說後直ちに歸東さるゝ爲に第一番に演說をと望まれ、今更同氏が鐵道青年會の爲に寸時もなき程の間をさきて廓清の爲に、また矯風の爲につくさるゝ御精神に感佩す。

矯風時間を勵行！といひつゝ公會場に行く。早やすでに廣々たる場内は階下の席に滿ち階上幾分の空席を見るのみ。委員は元氣よく接對する、屛風引きまはしたる壇上に自分は會頭の護衛兵として登れとの支部長の命令をうけて用もなき壇上に登る。

「益富氏矯風會の二大決議文につきて」の題下に述べさり述べ來る每拍手やまず、一時間餘の後降壇。矢島會頭立つて大臣訪問の趣意を簡單に述べらる。此時林支部長は廓清を兩手に持して溫謙而も底に力強き口調を以て廓清會への入會を勸告せらる。會員は紙片を持ちて場内を廻る、何となく人浪たちてさわぎ立つ時矢島會頭は「きれ／＼でもいゝから歌を唱へ」と私に御命じになつた、私は大膽に立つて唱ふた、用なくして登つて居た身も今幾分御用をつとめ得た感がした。最後に山室大佐は「貞潔の德」と題して痛切なる演說をされた。いかに貞潔の德をあやまり感じて居るものでも此お話をきいては明白に貞潔の德を知り且尊いものになさねばならぬものであることを感得した事と思ふた。猶大佐は今大佐が大阪で初められやうとして居らるゝ免囚保護事業につきて大阪監獄及區裁判所訪問の事を語られ人々の心膽を寒からしめ進んで其事業の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

必要を眞實感せしめられた。
此日廓清入會者賛助會員十一名、正會員五十九名會費の入金高十圓餘との事報告があつた。
會頭は濱寺の石神姉方より御迎をうけて行かれた。
私共はホームに歸つた。

○十六日の二大新聞は同じ會頭の寫眞を掲せて二段ぬきの記事を掲げてあつた。
京都牧野牧師から今日十時半の汽車で京都まで同行し車中に相談をなしたきむね御通知をうけて居つた、同牧師は實に御多用のお方特に昨今は山室大佐の大阪に於ける新事業應援の爲今日で三度一週日にもならぬ間に京都から朝五時何分といふ汽車で出張されて熱心に盡力さるゝよしを大佐から伺ふたのであつた。
御大典の當時我會が接待所を作りたき事につきてこちらからこそ時間を伺ふて御相談せねばならぬのである故一時間の車中にての御相談は願ふたりかなつたりである、時間迄に行く、即ち三等車の込み合ふ中に於ても充分に御相談はなし得テントン師方に同じく招待されおりしにより御同行す。
午後は支部會員長安姉と共に有力者訪問夜は女學校(同志社)寄宿舎生に話す。
杉田同志社青年部長及笹井姉は會後うや〳〵しく本部事務所建築用として金二十圓也を寄附として自分に託さる、感涙を以て此金子を受け此夜は學校に止宿。

○十七日の午前中支部長富森姉と牧野牧師を訪ふ丁度西尾技師も來訪され居りし爲に御大典の接待所の件につき具體的に相談をなす、大體に於て八百圓餘の金子を調達しなければ運動は出來ぬのである、富森姉は「やりませう――」と決心して答へられた、自分も「勿論其爲に四月に大會まで此地で開いたのですもの……」
湯淺姉を訪問して金子調達の爲め運動として小國旗を大に賣る事をつとめやうと相談まとまり午後其委員會を開かるゝまでの運びがついた、自分は今夜神戸へ應援する必要上お別れして堀内氏方に歸り大急荷造りして乘車神戸に入る。
神戸支部は數日の間に於て準備されたる故集會は如

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何かと案じたるは愚の極であつた、新らしき中山氏の青年會館には千二百餘の聴衆つめかけ、神戸教會の村松氏のキビ〳〵したる司會の下に矢島會頭、原田博士、山室大佐の順にて初まる、初めに安福姉のピアノ獨奏すでに心きゝたる會の模様なるに中途青木兒氏の獨唱を以て心を靜め一同先生方の演説を伺ふ。原田先生は實に御無理に〳〵願ふて、御出張を願ふたのであつた、温厚なる先生が一言も自分等をせめ給はす會の爲此準備演説會の爲に懇願をお聞き入れ下さつた事を諸姉の前に告げ深く感謝するのである。

此日大佐は京都と大阪とに於ての題と同じものゝ下に演説された上に廓清會員となる必要を痛論された結果として廓清會員七十七名、婦人矯風會々員三十名を得たのであつた。

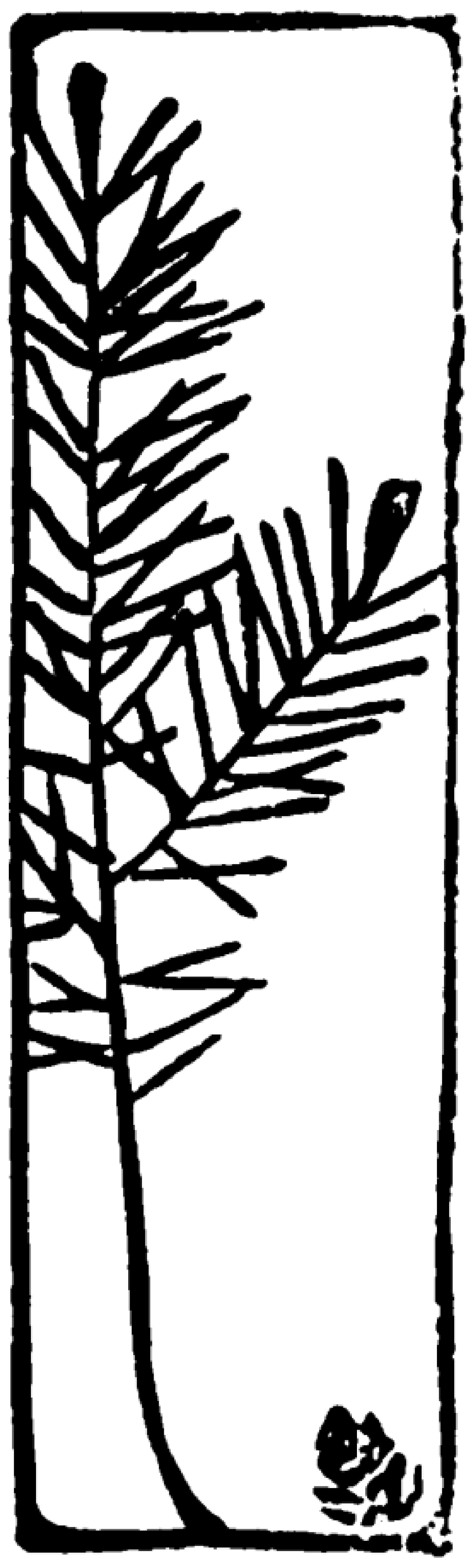
三都の集會は豫想以上の成功であつた、此後は猶かゝる準備演説會を各方面の人士に出演を乞ひ數回開會する事の必要と各方面にたゆます充分なる運動の大切なる事を知つたのである。

○十八日は聯合の組合教會婦人會（六十餘名）へ出席して決議文につき語り猶金子調達の件を依頼して歸つた。

○十九日朝七時半の下の關行急行に身を投じ矢島會頭のお供して「熱心なる祈りによつて私等を引つけた」と確信してゐられた呉の十時姉の海軍々人ホームに午後四時二十分着。

○二十日午前五時二十分の汽車及汽船にて讃州高松に會用を帶びて一人出發。夜八時半着。

呉にての戰は二十二、及二十四の兩日神の御導を仰ぎ願ふ。決議文の運動が地方にまで充分に染傳してゐる事を深く感謝して今讃州高松の久布白落實姉宅にて此稿を認む。（四、九、二一）



潮路

梅田きよ子

眞晝の強い日光が照りかへして居る波止場の棧橋から離れて、やがて五六時間も經つた頃であつた。病後の私は船に乗ると間もなく疲れを覺えたのでひとりキャビンに引取つて、小さな丸窓の二ッ附いて居る上のベットに横になつてうつら〳〵夢路を辿つて居た。ふと涼しい風が寒氣のしたやうにひどく肌を犯したのでまたどんな病魔に襲はれるかと半ば恐怖を感じ乍ら枕許の窓に手をかけた。

とみる西の空には夕燒の名殘りを僅に思はせるほどの明るさに淡い色の雲が夢のやうにぼんやりと浮んで居た。薄むらさきとあかねの色の褪たやうなのが、空の地色をみせない程一ぱいに調和よくぼかされて、二ッの色が入みだれたさまはいかにも柔らかな姿に見えた。私はいつも雲のいろから種々のものを引比べてみた。色紙、長じゆばん、舞姫の衣、引幕の染模樣のいろ抔とそれからそれへと思ふのであるけれど、いまみる空の色はどう考へても何物も比べられるやうなものではなかつた。

何といふ美しさだらう！私は思はず眼をみはつた。もの靜かな動ぬ淡い色でありながら引つけらるゝ魅力の強さ、私はまだこんな嚴かな美しさは見なかつた。

私はその端麗な空の下に深さも知れない恐ろしい海のある事も、それから自分の身はその海に運命を任せて居る船の上にある事も忘れて、只その美しい雲の浮

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぶ空へ行つてしまひたいやうな氣持に成てしまつた。いま誰か小舟を自分に與へてくれたなら、死の恐怖から離れて、ひとりその小舟に身を任せて雲の方へ〳〵とあこがれて漕で行く事が出來るであらう。さう思ひ乍ら私は只嬉しさに涙が流れた。

　私にはこれ迄いかなる場合にも死といふものをよそにして何事も考へられなかつた。常に暗い不安が周圍を巡つて居るやうに思はれて、何事も柔らかな心持で見る事は出來なかつた。自分の見て居る小さな世間には自分の考へやうとする事はもう人が考へて居るし、自分の仕やうとする事はもう人が爲て居るといふやうに思はれて、何となく苛々とする極行詰つた金魚鉢のやうな生活ばかりがあつた。さうして私はやたらに殘忍な氣分になつてみたり、何とか皮肉を言つてみたかつたり、悧巧振つてみたかつたり、さういふ心の貧しさと弱さとを隱さうとする行爲ばかりを續けて來たやうに思はれた。

　けれど私のあこがれて行きたい空には限りない溫かな平和が含まれて居るやうであつた。そこにはひれ伏したいやうな嚴かと、縋りつけるやうな懐かしさとを見る事が出來た。私は何を思ふ餘裕もなく自分をそこへ投げ入れてしまふ事が出來るやうに思はれた。

　私は寒さも何も忘れて、窓から頭を出して海の風に吹かれ乍らいつまでも空を眺めて居た。いつまで經つても雲の色もゐずまゐも變らなかつた。私は凡ての罪を洗つて慈愛の懐に抱擁されたい願ひで胸が一ぱいになつてしまつた。

　私は靜かに起あがつて靜かにそこに膝まづゐた。

＊　＊　＊　＊　＊

「いま甲板を洗らひますので水が掛りますから、窓を〆めさせて頂きます」

　いつの間に來たのかボーイが後に立つて居た。

「〆めなけりやいけないのですか？」

「水で大變汚れますから」

　ボーイが窓を〆めると間もなく頭の上で何か大きなものを引ずる音がした。そのうちに窓のガラスへ瀧の

やうに水がかゝつた。水夫の鼻唄や掛聲や大きな靴音が騒がしく響いて來た。私は毛布の中に埋まつてハンケチで顔をしつかり押へて、いつまでも美しい空を探し求めた。やがて威嚇すやうなどらの音が食事を告げた。乘客はみんな食堂へ集まつてゆくやうであつた。

　しばらく經つてから私はそつと眼を開いた、小さな室には電氣が附いて、用意の爲に持つて來た袷羽織が椅子の上で船のゆらぐ度に、袖裏のダリアをちら〳〵と赤く見せて居た。

　私は丸窓のガラスからそとをのぞいてみた。もう海はもの凄い程眞暗になつて、荒く船にあたる波の音が恐ろしく聞え始めた。

　日本の夏をあとに船は北へ北へと進んでいつた。

二の岡のやどりにて

山東泰子

夏衣袖ふきかへす二の岡の山のはいつる夕月のかけ

なかめやるかたは山また山にしてちりの世ならぬ心地こそすれ

月いと淸き夜半に

むら雲のさはりもなくてすむ月の淸きをおのか心ともかな

あつさにたへぬ夜

さはりなき身たにねられぬ暑さかなやみふす人はいかにあかさん

折にふれて

ふりつゝく雨にたつきの道たえて餓になく子も有世なるらむ

電車内にて

あさましき姿なるかなさゝの葉の露に心の乱れそめつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新調の青年部優勝旗

杉本部長

明治四十三年七月に矯風會大會が京都同志社女學校に於て開かれました時、青年部の年度に於ける働きが良成績と見なされ、その表彰として大會から金十圓の賞金を受けました。直様代員のYの方と相談の結果優勝旗を作ることに決しましたが、何分十圓では永久に保つべき旗は出來ないので、殘念ながらそのまゝになつて居りました。本年四月は五年目で又同志社女學校で大會がありました、此時に御有志の方々から青年部優勝旗のために十圓集りまして、都合二十圓になりましたから、東京に歸りましてから、彼方此方と問ひ合して見ましても却々圖案など思はしきものもありませんでしたが、少年禁酒軍長の守屋姉を初め、他の方々にも相談の後、矢張少年禁酒軍の旗と姉妹旗にすることになりました。即ち赤き心の色を表はす緋天鵞絨の地に、刺繍で金字と白色で日本字と英字で青年部と表はし、又少年禁酒軍旗の月桂樹は一葉ですが、青年部のは二葉であります丈が姉振た所であります。神田支部の川崎夫人が御撮り下されたこの寫眞で御覽下さい。偖て借金して物を拵らへることはあまり賞めたことではありませんが、事情止むを得ず借財を致した理であります。桐の箱共で三十五圓四十錢掛りました。

新調青年部優勝旗と杉本部長及岩村副部長

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小石川の靑年部から一圓の寄附がありましたので十四圓四十錢の借財になつて居ります。何卒有志の靑年部から御寄附を願ひたいのであります。矯風會の靑年部は矯風會の元氣活氣で、もし矯風會を身體と見ますと大人の矯風會が頭で、少年禁酒軍が手足で、靑年部は胴であります。身體の中胴には五臟が位する所でありますから、身體の原動力は此處から出る筈でありますのに、今日まで靑年部は部長の不慣なる點は大に罪あるとしても、兎に角あまり靜肅すぎました。何の仕事をするにも明瞭名乘つて出なければ卑怯に陷ります。來年四月の大會には、靑年部優勝旗の授與式が日本矯風會初まつてから初めてあることになります。

　併せて御願ひいたしますが、何卒各靑年部の模樣を本部へ御知らせ下さい。

廣告

御夫人御令孃方の
ミシン裁縫と
御學習の便と
ミシン刺繍の
ミシン購買の
便利を迅速に御取
計申すために
シンガーミシン會社は
芝區車町六十八番地に
芝シンガー裁縫院を
新設し。「目下御學習
御購買之方とを募集中」
ミシン御購買御希望の方
へは。「御申込次第一週間敎師
とミシンとを無料」にて市
の内外を不問試用のために供す
出張敎授にも應す
規則書とミシン型錄無料進呈

各地通信

本部

九月六日(月)午後二時より本部事務所にて常置員會を開く、出席者矢島會頭、小崎、岩村、根本、栗屋、山東、杉本、守屋、藤井、外に寄員伊藤とみ、齊藤ふく。

一、常設委員より請求したる專任幹事に關する俸給は萬國本部より支出する事を承諾する旨ゴルドン孃より來書につき杉本銕子氏の報告。

一、專任幹事候補者とし久布白落實氏及城戶順子氏を推擧す。

一、第一久布白落實氏に交涉の權を守屋東子氏に委任す。

一、矢島會頭より丹後國峰山に新支部設立並に同國一圓遊說の報告。

一、決議文に關し、報告並に今後の方針につき實行委員長の報告あり。

一、女子靑年會夏期修養中の日曜日献金總額拾壹圓貳拾五錢を決議文運動費として寄贈の件。

(藤井かう)

東京芝

九月十六日(第三木曜)午後二時より芝支部例會を芝區高輪南町二十八、會員伊藤夫人宅に開く例に依り、井深支部長司會せらる。詩篇朗讀、讃美祈禱、書記前會記錄を報ず。芝支部は九月九日を期し、矯風會本部事務所土地購入寄附金を本部會計小崎夫人に渡したり。同支部會員一同は今回の寄附金調達辛苦に付き特に會計根本夫人の周到緻密なる御盡力に、多大なる感謝を表して止まず。素より會員一同心を合せ種々なる方法に依つて金員の調達を計る。うちに日用の必要品なる石鹼を販賣せしと、事實の鍋の販路を開きしは好結果なりし。

事務所土地購入寄附金人名

金額	人名
一金二百圓四十錢	根本德子
一金百圓〇四錢	佐竹松枝子
一金十圓〇四錢	井深花子
一金五圓〇二錢	植田米子
一金五圓〇四錢	川崎花子
一金五圓	原口ふさ子
一金五圓	鵜飼清子
一金五圓	立田通子
一金一圓	杉本銕子
一金十一圓三十五錢	篠けい子
一金三圓	石川節子
一金十圓	伊藤せい子
一金十圓	和田てろ子
一金五圓	岡田仲子

小計金四百二十五圓八十三錢

他に石鹼或は他の家庭必要品賣上利益

小計二十七圓八十六錢

合計四百五十三圓六十九錢也

當日相談したる件は、御大典準備矯風演說會を開くにつき、東京市内の他の支部と打合せをなすこと。御大典の當日に祝賀紀念として「日の丸」徽章(一個二錢)を會員手分して出來得る丈け知己の間を奔走して賣ること等。

東京赤坂

六月廿四日午後二時より靑山原宿藤原梅子氏方にて臨時親睦會を開く、小崎千代子氏より大會の模樣につき委細報告あり、矢島會頭は夏休の御計畫其他有益なる御感想を語られ一同大に奬勵せられたり。當日相談の要は御大典奉祝準備寄附金及本部事務所敷地代寄附金募集の件、其他當支部發展のため種々協議を凝しあり、折あしく雨天にて出席者僅に九名。(山東泰子)

筑前若松

救世軍大佐山室軍平氏九州御巡廻を機とし同氏に乞ひて當市に演說會を開く。當地會員は二三年前より大佐の御來若を願ひ居たりしに今回漸く其期を與へられしを喜び、早速準備をなして或は廣告に或は案内に心を併せて働きたり。八

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月十七日午後七時原ため子氏司會にて大佐は、「神の愛」に就き十ヶ條に區分して細かき說明を與へられ席上水を打ちたる如く謹聽し中には非常に感動せられたるも少からず、大佐の信念と人格は當夜來會の人々をして目を覺さしめし事を信じ感謝の中に閉會せり、聽衆約三百五十名滿員にて歸りし方も多かりしは殘念なり。今回大佐の御來著頂きし事は當市の爲に感謝する處なり。(原かめ子)

長崎

七月二日本部より御送付になりし印刷物を携へ會長及書記は知事閣下を訪問申上候折柄御來客にも係はらず快よく御多忙の時をゆる〱御話し被下候。御話は佐賀支部の御報告と大同小異に候、今少し徹底致し候樣にと考へ候ひしも一度に色々の要求を述べ候も如何やと差控へ物足らぬ感も致し候兎も角も斯る方が私共の主義に意を留められ且つ御意見を洩さるゝ迄に相成候事は實は祝すべき事と感謝致候。要は私共内に一層深く養ふ所ありて其主張に背かざらん事に努力肝要と存じ候。教育課長、市長は御差支のため御目にかゝる機會を得ず候。左に講演會の模樣を申上候。

八月十六日午後八時長崎青年會館に於て大演說會を開く、準備委員連日の御骨折により暑さの折にも不拘聽衆五百に充ちたり。禁酒會長片田江氏の司會にて益富氏は矯風問題特に海外醜業婦問題につきて熱心に說かれ又實例によりて彼等は同情すべきものなるが、彼等は忌むべき厭ふべき、惡むべき者に非ずして憐むべく同情すべきもの、我等はあらゆる手段方法を以て彼等を救はざるべからずと論じ存娼論者に對し痛快なる駁擊を與へられたり。山室大佐は「信仰の根本問題」につき日本に於ける救世軍が過去二十年間に實行せし働を語らる要は精神上の變化は只キリストの救によりてのみ行はるゝ事、即ち私共は人類を作り給ひし神によりて初めて惡人も變じて善人となる事を得んと種々の實例を示されたり。

十七日午前八時より婦人の集會を開く、聽衆意外に多く百餘名に達す、奥きく子氏の司會にて益富氏は矯風廓淸の問題につき特に我同胞婦人の自覺を求められ更に矯風會の決議文につき徹底せる說明を與へられたり。山室大佐は「社會改良と婦人」につき婦人の勢力を數項に分ちて懇切に說かる、要は此世を正義の世、愛の行はるゝ處となす事肝要なり婦人は善人たる事によりて世の中に盡し得との御話なりき。

兩先生の御熱心なる御講演によりて我等會員は新たなる生命を與へられしは申すまでもなく神を知らざる人々に多くの感動を與へられしを信じて深く感謝いたし候。終に禁酒會諸氏の多大なる御盡力を感謝致候。(奥きく子)

札幌

七月十五日辻會長御宅にて役員會を催し記念日につきて種々の相談をなし、又御大典に關する本部の通知を承はる。

七月二十一日渡邊常子女史の御來遊を期し組合教會にて午後一時半より、本會創立記念會を兼ねて講演會を開く、辻會長の司會にて渡邊女史は熱心に說かれたり。雨天なりしも聽衆六十名に達したり。

八月十二日午後一時半より辻會長御宅にて役員會を開き、十九日午後一時半より北辰教會にて集會後各々持參の花を携へて病院又は家にありて病床に苦む方々を訪問す。(海老澤まさ子)

東京麴町

十月十三日(月)午後二時溜池三番地事務所にて例會を開く、矢島會長司會にて規定の報告を終り後會長は當夏丹後國に活動せられし種々の御感話あり、殊に丹後峰山に新らしき支部の設立せられしと承り深く感謝す、次に御大典に關する決議文實行委員長より準備演說會開催の勧告ありて一同賛成し、川崎正子氏を委員長として、奥山、樋口、竹上、岩村の諸氏を委員に撰びたり。出席者十五名。(書記、奥山有志)

婦人新報代金領收

一金二圓十六錢(五月六月分) 札幌矯風會
一金七十錢(四年十二月迄) 島村藤枝
一金七十錢(五年六月迄) 原崎とき
一金七十錢(五年七月迄) 北栃イチ
一金七十錢(五年七月迄) 色川ゆき
一金七十錢(五年九月迄) 徐うの
一金十八圓九十錢(四年九月迄) 麹町矯風會
一金二十五圓(二百十七號 二百十八號) 大阪矯風會
一金七十錢(四年十二月迄) 古田ふみ
一金七十錢 引田りよ
一金七十錢(五年五月迄) 田澤みゑ
一金七十錢 伊藤へい
一金七十錢 櫻庭つる
一金拾圓六十六錢(四年十二月迄) 吳矯風會
一金五圓 (布哇)熊田夫人
一金一圓五錢(大正六年一月迄) 熊谷せつ

御大典記念運動費寄附金
第二回報告(大正四年九月十五日第二回締切)

扱人或は寄附者	金高	所屬支部
第一回寄附金總計繰越	七八、六五	
立田つう子	三、一〇〇	芝支部
小崎千代子	八、〇〇〇	赤坂
堺支部	二、〇〇〇	堺支部
大村ゆき子	二、〇〇〇	
森本やす子	一、〇〇〇	
打田はつ子	一、〇〇	
新井菊子	、一〇	
下關支部	一〇、〇〇	
山東恭子	一〇、二〇	
女子青年會	一一、二五	赤坂支部

合計百二十五圓三十錢

會計 杉本鉞

旗の日會好況

瓜生男爵夫人の發起せし家庭製作品奬勵會は、英國に於ける旗の日會に擬いて、御大典奉祝の誠意を表する爲め、曩に小國旗徽章を頒布することゝなりしが、全國並に海外在留同胞よりの申込み豫想外に盛んなる爲め、晝夜兼行の製造も間に合はず、最近更に製造力を擴張して註文に應じつゝあり。この勢にては當初計畫の一千萬も近く豫約濟とならん有樣なり。就中横濱市の如きは同胞貴婦人三百餘名結束して婦人聯合會なるものを組織し、一手に一百萬本を引受けたるが、東京市に於ても矯風會各區支部の事業として引受くることゝなり、芝支部根本代議士夫人の如きは、既に數萬本の豫約を爲し、鈴木代議士夫人、淺野應輔氏夫人、等各數萬本宛を引受け、又全國各地に於ても矯風會支部中心となりて運動中にて、矢島楫子女史關西巡遊中は、實物廣告なりとて既に該徽章を胸間に佩用して旅行し居れり。又京都市は既定の菊の花會と合せて旗を佩用することとなり、同志社の富森女史主として奔走し居れり更に海外に於ては布哇の十餘萬本、米國の十萬本、其他遠きは南米に又新領土南洋へも既に一萬餘本を送りたれば、當日は定めて新領土國民もこの喜びを共にするを得べく又横濱慈善會の事業として、全國の囚人六萬人に對して同徽章を寄附せん計畫にて、目下當局へ交渉中との事なるが、我婦人の事業としては斯る大規模の計畫は空前のことなれば、是非成就させたきものなり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より

ケー、エフ、

△暑中は至て物淋しかつた事務室も、今は元氣を恢復して、會員諸氏の御顔も交る〲拜する事を得る樣になりました。

△横濱支部は非常の勢ひにて御活動、例の日の丸小國旗賣捌きを企圖してから、會員は一層奮起し、之迄眠つた樣な有樣から急に覺めて、會の一大基礎を建てんと一同奮勵して居られます。實に祝すべき事です。

△丹後國峰山に新支部が設立されました。勿論矢島會頭が暑中休みを利用して御働きになつた結果とは申すものゝ、同地の有力家谷口夫人を始めとし、其他諸氏の御盡力によつて斯くなつたのであります。谷口夫人は以前から婦人新報の講讀者で、しかも御愛讀なされた結果、矯風會の何物なるかを覺られたのであります。僅か二冊の婦人新報が破るゝ迄數人の手を經たとの事です。どうか入會の出來ないと仰せらるゝ方にはせめて雜誌の講讀者になりと御すゝめを願ひます。

△矢島會頭は本月四日關西を經て御歸京になるや否や首相をはじめ内務、文部、宮内各大臣を訪問して、御大典に關する御意見を聞かれそれを齎らして去る十四日大阪、京都の大演説會に出席せられ、更に進んで呉迄御出演になりました。御老體少しもおさわりなき由御元氣の程恐入る次第であります。

△守屋さんは常置會員にて御願ひした通り、專任幹事候補者なる久布白夫人を訪問し、それから京都、大阪の大演説會に出席し、尚ほ會頭を助けて呉の運動にも御參加になりました。同氏の御健康を祈ります。

△又同氏の御便りによれば、京阪の集會はなか〲の盛會にて、たしかに輿論を喚起するに充分であつたさうです。地方の諸氏が熱心に御活動なさるのに比べて東京の支部も斯くある事を希望致します。

△日の丸小國旗賣捌きにつき、特に横濱支部から全國各支部の方が、この際御奮發下さる樣との御傳言でムいます。右事務所は東京芝三田四國町二ノ一號です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ulated upon this advanced stand. He also forcibly expressed himself against the modern custom of geisha being allowed so much freedom in dress and manner. In ancient time, rules were rigid; but now a woman of doubtful character may appear in the dress of any respectable woman. He considered this dangerous and shameful. The Minister of the Imperial Household showed deep sympathy with our work. With some indignation he referred to modern methods of conducting Government festivities. He said that in olden time, on every grand or sacred occasion connected with the Imperial Household, all citizens showed respect—even to the extent of extinguishing the fires in their homes; but in these days, there seems to be no difference in the minds of many people, between this affair of the nation's dignity, or that of a local matsuri."

It sems a positive fact that every thinking mind agrees with us, that this important ceremony should be observed with dignity and reverence; also, it is undoubtedly true that the Kyofukwai has a wide-spread sincere and deep sympathy on the point that *geisha* and *reverence* can not march side by side. The most earnest work of all our branches, just now, is to arouse public sentiment against the geisha system, and so keep geisha girls, as much as possible, in the background during the coming festivities. Of course we cannot control private affairs, but we believe all Government functions will show a touch of our influence. For this we owe grateful thanks to the courage of some of our most manly and high-principled officials.

The Unions in the Western cities of Kyoto, Osaka and Kobe have been busy with meetings, and have accomplished wonders. Madam Yajima has been presiding, and Colonel Yamamuro of the Salvation Army, and other influential speakers are assisting. The zeal and fire of these three Unions have kindled minor Unions scattered in distant places, and now all of the Branches are busy and enthusiastic—and hopeful.

At the time of the Coronation, an immense tent will be raised in some central position, in Kyoto, by the W.C.T.U. There the tired may rest, and cool, refreshing, non-alcoholic drinks will be served. We hope this may save many of the weary ones in the crowded streets, from drifting into places of harm.

Since the Japan W.C.T.U. began its work, some twenty-five years ago, there has never been a time when all the Kyofukwai have worked so enthusiastically and so in unison, as now. We all pray earnestly for rightful guidance and for good results.

Etsu Sugimoto.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD.

(*Fujinshimpo*)

As the time of the Coronation Ceremony draws near, White Ribboners all over the land are more and more active. Ever since the Convention in April, they have been most energetic in working for the hoped-for result for the "Two resolutions." Much work has been done in securing the sympathy of men in positions of authority. This we consider very important in this land where a "voice from above" has such strong influence with the people.

From Tokyo headquarters, hundreds of personal letters have been sent by Madam Yajima, soliciting high officials of various cities to join their influence with our work, in their preparation for the Coronation. Several thousand copies of the message of the Premier, Count Okuma, and the opinions of Mayor Okuda and Governor Kubota, were printed and sent to members of every Branch Union in Japan. These, giving the exact words from the highest municipal authority of the central municipal power in the land, have proved a strong support to the members in their efforts to gain the influence of local officials. In oldfashioned country towns, especially, the voice from Tokyo high authorities has proved most powerful.

We are more gratified that words can express, that the Kyoto city officers have decided to introduce an entirely new custom in the grand Coronation banquet in which the city of Kyoto is to act as host. The guests will include the various Embassys, noted strangers and Japanese people of highest rank. It is contrary to all precedent, but these Kyoto officials, the hosts, have decided that they will all be accompanied by their wives.

Is this not a long, long step toward our aim? The goal is yet far distant, but this is an echo showing that our voice has been heard, and the way is clearing to the end of the path.

Very recently, Madam Yajima made visits to the different Ministers of State. Each one expressed sympathy with our desire that all the Coronation festivities connected with the Government, be held in a spirit of solemnity and reverence. The Japan Advertiser writes as follows;-

"The Minister of Home Affairs, after reading the papers, (the two resolutions,) presented, said that he considered the immediate application of these suggestions rather impracticable, but he sincerely believed that the spirit is right. The Minister of Education was pleased to learn that the Kyoto officials had decided to be accompanied by their wives at the banquet. He said the entire municipal board should be congrat-

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ケ谷見附內)
電、番六二番

東洋內科醫院

院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可）婦人新報第二百十九號（大正四年九月廿八日發行 毎月一回發行）

ライオン煉齒磨

旅行には是非共必要！

ライオン齒磨

ライオン水齒磨

食後寢前には不可缺！

本誌定價一部金六錢

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA